

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2003-140207 (P2003-140207A)
【公開日】平成 15 年 5 月 14 日 (2003.5.14)
【出願番号】特願 2002-266168 (P2002-266168)
【国際特許分類第 7 版】
G 0 2 F 1/313
G 0 2 B 6/12
【F I】
G 0 2 F 1/313
G 0 2 B 6/12 J

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 1 日 (2005.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板と、
前記第 1 の基板の第 1 の平面内の少なくとも 1 つの第 1 の導波路と、
第 2 の基板と、
前記第 2 の基板の第 1 の平面内の少なくとも 1 つの第 2 の導波路と、を含む光スイッチング要素であって、
前記第 1 および第 2 の基板の前記第 1 の平面が対向する関係になるように前記第 1 および第 2 の基板が結合され、前記第 1 および第 2 の導波路は離れて配置されかつ所定の角度を持って互いに交差し、前記第 1 および第 2 の導波路の少なくとも一方は角度付きの部分を持つように形成され該角度付き部分は前記交差で他方の導波路と離れた平行の関係に配置されており、
前記交差において前記導波路の間に配置される制御可能な結合材料をさらに含む、光スイッチング要素。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の導波路は概して約 90 度の角度で交差する、請求項 1 に記載のスイッチング要素。

【請求項 3】

各導波路の前記交差における前記部分は約 45 度の角度で延びる、請求項 1 に記載のスイッチング要素。

【請求項 4】

前記結合材料は電界に応答してその屈折率を変化させる、請求項 1 に記載のスイッチング要素。

【請求項 5】

前記結合材料は熱に応答してその屈折率を変化させる、請求項 1 に記載のスイッチング要素。

【請求項 6】

前記第 1 および第 2 の基板のそれぞれに複数の導波路が存在し、前記結合材料は電界に応答してその屈折率を変化させる、請求項 1 に記載のスイッチング要素。